もりまち議会だより

令和６年２月号
（第98号）
発行　静岡県森町議会

https://www.morimachigikai.com/

令和６年１月４日、出初式終了後に太田川河川敷にて森町消防団による一斉放水が行われました。日頃の訓練の成果が発揮されており、大変心強く感じました。
また、最裏面には団長から寄稿をいただきましたのでご覧ください。

Ｐ　４　・・・　12月定例会概要
Ｐ　９　・・・　町政の考えを問う　一般質問
Ｐ１５　・・・　議員定数と報酬について調査研究を進めています
Ｐ１６　・・・　先進地視察（茨城県境町、古河市）
Ｐ１８　・・・　旭が丘中学習発表会に参加しました

特　集

～町内会長さんの様々な声を伺いました～

森町議会では、7月18日から28日にかけて、各地区町内会長さんを対象とした議会報告会（意見交流会）を6地区で開催しました。
前回号（97号）で意見の内容を紹介しましたが、今回号では町からの回答を含めて引き続き紹介します。
今回のテーマは、**「地域で抱えている問題や課題」**についてです。

町内会運営に関する声

・町内会からの要望は、どのような優先順位で位置づけされているのか。

▶回　答　提出いただいた要望箇所を現場確認し、ランク分けしている。（建設課）

A	緊急性が認められ速やかに対応する必要があるもの
B	必要性が認められ年度内に対応する必要があるもの
C	必要性が認められ次年度以降に対応を予定するもの
D	経過観察とし今後の状況変化により再検討を要するもの

・防犯カメラ設置への補助金等は考えているか。

▶回　答　令和６年度に補助金制度の制定を考えている。（総務課）

・人数が少ない町内会は、大きい町内会に比べ、負担が大きい。
町内会の運営を町で考えてもらえないか。

▶回　答　町内会の負担軽減が図れるよう、役職の見直しを実施する。
町内会は自治組織のため、町で編成は決められないが、困りごとがあったらご相談ください。（総務課）

子育て支援に関する声

・放課後児童クラブの開所時間を早めてほしい。

▶回　答　保護者ニーズを確認しながら検討を進める。（健康こども課）

・保育園の手続きに関する書類について、紙ベースが多すぎるため、簡素化してほしい。

▶回　答　必要最低限となるよう検討を進める。
また、電子申請などを活用して負担軽減につなげていきたい。（健康こども課）

その他（消防団・移住）に関する声

・消防団の団員数確保のため、年齢を引き上げてはどうか。

▶回　答　令和４年度に制度改正し、任命権者（町長）が認めれば、45 歳以上でも年齢制限なく在職できるようにした。（防災課）

・実際に町に宿泊して体験するお試し移住を進めてみてはどうか。

▶回　答　現在、宿泊を伴うお試し移住は行っていないが、移住を考えて訪問された方への補助制度を制定している。（定住推進課）

災害対応 に関する声

・一時避難所や指定避難所にも、飲み物・毛布などを置けないか。

▶回　答　今後、状況を確認しながら設置について検討する。（防災課）

・災害に備えた、電気復旧に関する予防策はあるか。

▶回　答　令和４年度から県･町･中部電力（株）が連携し、予防伐採に取り組んでいる。（防災課）

・山間部における、災害時のためのう回路整備をしてほしいが、担当課の考えは。

▶回　答　重要度は認識しており、待避所の設置や部分的な補修は必要と感じている。（建設課）

・河川の流木撤去や浚渫（しゅんせつ）の進み具合はどうか。

▶回　答　県管理河川は、浚渫の要望をしている。
町管理河川は、地元要望だけでなく、職員のパトロールにより、緊急度の高いところから対応を行っている。（建設課）

・排水不良箇所が町内に多数あるため、早急な改善をしてほしい。

▶回　答　令和６年度から実施のための調査を行い、翌年度以降から具体的な対策に入っていきたいと考えている。（建設課）

・災害時、簡易水道組合への給水車は配備してくれるのか。

▶回　答　給水範囲が限定されてしまうため、災害時の簡易水道組合の受水槽への補給は、原則行っておらず、避難所、集会施設への広範囲の給水を基本としている。

（上下水道課）

インフラ整備 に関する声

・交通弱者対策が足りないと感じるが、担当課の考えは。

▶回　答　現在、新たな対策を検討中である。
・日中の公共交通空白地域に新たな交通手段の導入
・運転経歴証明書の提示による公共交通利用の割引制度の導入（企画財政課）

【 参加した議員の感想 】

大変有意義であったが、参加者が各地区町内会役員ということで、同方向の意見が集中していた。今後は各世代で構成し、特に女性目線での意見交流会を目指していきたい。

（佐藤　明孝）

災害時の問題や町内会の活動等といった切実な問題を肌で感じることができ、非常に有意義な時間となった。次回はテーマを限定して、より深い意見を聞きたいと考える。（平川　勇）

12月定例会

森町議会は、12月定例会を5日から21日までの会期17日間で開催しました。補正予算や条例改正など提案された12議案を審議し、**賛成全員で可決**しました。一般質問は、5人が質問しました。（9～14ページに掲載）

▲定例会の様子はこちらから（森町議会 YouTube）

天方地区にコミュニティ防災センターを新計画

ふるさと納税寄附金増で1億円を基金に積立

条例

森町職員定数条例の一部を改正する条例について

現行の町長部局職員142人から155人に増員する。

また、地方公営企業（水道事業）に公共下水道事業を加え、職員を5人から10人に増員する。

施行日　令和6年4月1日

人事

人権擁護委員候補者の推薦について

川出泰子（かわでやすこ）氏の任期満了による退任に伴い、新たに村松加代子（むらまつかよこ）氏を推薦することに同意する。

補正予算

令和5年度森町一般会計補正予算（第9号）
（詳しくはPickup⑪）

令和5年度森町介護保険特別会計補正予算（第2号）
補正額　4145万6千円

令和5年度森町水道事業会計補正予算（第2号）
補正額　500万円

令和5年度森町一般会計補正予算（第10号）
（詳しくはPickup⑫）

一般議案

森町道路線の認定について

認定路線
・円田・谷中線
県道山梨一宮線バイパス事業終了後、現路線を町道として引き受けるため
・鍛治島仮橋線
仮橋を含んだう回路を新たな路線として認定するため

鍛治島仮橋を設置する予定箇所の様子

＼Pickup／

01 基金積立等の補正予算（第９号）

２億８８１２万２千円を追加し、令和５年度一般会計予算総額を１０６億４２８４万５千円とする

主な補正内容

事業名	金　額	内　　容
ふるさと応援基金の積立	１億円	ふるさと応援寄附金の一部を積立金として増額する
システム改修委託料	１，７０２万８千円	マイナンバーカードの氏名をローマ字表記対応できるように住民基本台帳システム等を改修する
こども医療費扶助費	７３０万円	季節性インフルエンザ等の拡大により事業費が増加したため増額する
公共土木施設災害復旧事業費	８００万円	鍛治島仮橋架設・撤去工事に係る電柱移転補償費

主な質疑内容

ふるさと納税の現状等

Q ふるさと納税の現状は。

A 今年度４月から９月までで約２億円の寄附をいただいている。電動アシスト自転車の返礼品の影響が非常に大きいとみている。

Q 来年度の展望はどうか。

A ＰＲと返礼品の拡充、また新規開拓に取り組んでいきたいと考えている。

鍛治島仮橋工事に係る電柱移転

Q 補償費の内訳は。

A 中部電力の電柱移転、ＮＴＴ架空線移転、共同テレビ線移転のための補償費である。

＼Pickup／

02 用地取得費等の補正予算（第10号）

１億５７０３万円を追加し、令和５年度一般会計予算総額を１０７億９９８７万５千円とする

主な補正内容

事業名	金　額	内　　容
公有財産購入費	５，１６０万円	天方生活改善センターの老朽化等に伴い、閉店したＪＡ旧天方支店を天方地区のコミュニティ防災センターとして整備するため、土地と建物を取得する 【買収価格】 土地：１，２６０万円 建物：３，９００万円
物価高騰対応重点支援給付金事業	１億５４３万円	世帯全員が住民税均等割非課税である世帯に対し、１世帯当たり７万円を給付する

主な質疑内容

天方コミュニティ防災センター用地取得

Q 防災センターとして供用開始できるのはいつ頃か。

A 令和５年度中に建物と土地を取得、令和６年度に改修設計及び工事を実施し、令和７年度から運用を予定している。

Q 地域への負担はあるのか。

A 指定管理として、地元の方に運営していただく予定で考えている。また、備品購入についても負担していただく予定である。

Q 現在の天方生活改善センターはどうするのか。

A 解体を計画しており、スケジュールの調整を行い、時期や跡地の活用についても検討していく。

10月臨時会

森町議会は、10月臨時会を27日の会期1日間で開催しました。補正予算など提案された3議案を審議し、**賛成全員で可決**しました。

補正予算

令和5年度森町一般会計補正予算（第7号）

補正額　600万円

豪雨により被災した鍛治島地区上田水道利用組合の飲料水供給施設の整備費を補助する

一般議案

建設工事請負契約の締結について

対象工事
町道椋地線道路災害復旧工事

契約者　株式会社岩附建設

契約金額　6666万円（税込）

対象工事
町道鍛治島・大久保線
鍛治島橋仮橋架設・撤去工事

契約者　岡野建設株式会社

契約金額　6666万円（税込）

主な質疑内容

飲料水供給施設への補助

Q **総事業費と内訳は。**

A 総事業費は約690万円で、内訳は水源の移設工事費が580万円、復旧工事費110万円となっており、そのうちの10分の9を町で補助する。

Q **今後の被災で整備費がより多くなっても、補助はされるのか。**

A 状況によるが、予算の範囲内で補助する方向で考えていきたい。

鍛治島地区上田水道利用組合の水道施設

11月臨時会

森町議会は、11月臨時会を29日の会期1日間で開催しました。補正予算など提案された6議案を審議し、**賛成全員で可決**しました。

条例

- **森町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について**
- **森町特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部を改正する条例について**
- **森町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について**
- **一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について**

令和5年人事院勧告を受けた国の動向を踏まえ、諸手当の改正を行う。

補正予算

令和5年度森町一般会計補正予算（第8号）

補正額　2914万3千円

人事院勧告に基づく給料、手当等の改正に対応するため増額する

令和5年度森町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正額　286万8千円

人事院勧告に基づく給料、手当等の改正に対応するため増額する

議会活動報告

1月19日に、4月1日開園予定のこども発達センター「きためばえ」の施設を見学しましたので報告します。

こども発達センター「きためばえ」は、ＪＡ旧飯田支店建物を活用して開設されたもので、施設内部については、既存の形を活かしつつ、部屋によっては目的に沿うように改修されており、子どもたちが安全で快適に過ごせるよう配慮が施されていました。

本施設の定員は12名で、職員は14名を確保しており、森町や掛川北部からも入園を引き受けていく予定との説明でした。

また、職員が不足しそうな場合は会計年度任用職員を採用して補っていくとのことで、子どもの生活に支障が出ないように取り組まれている姿勢が伺えました。　（佐藤　明孝）

出前議会報告を実施しています！

森町議会では、町民の皆さまと議員との直接の関わり合いを通じて議会を身近に感じてもらうとともに、町議会や議員の役割について理解を深めてもらうことを目的に、出前議会報告を実施しております。

開催方法は、町内会や各種団体など希望する団体の皆さまの元に、議員数名でお伺いして実施します。

普段、なかなか知る機会が少ない町政についてや議会の活動についてなど、議員がわかりやすく説明します。テーマを決めた意見交流など、ご希望に合わせての実施も可能です。

開催を希望される団体の方は、森町議会事務局（８５－６３２９）までぜひご連絡ください。

12月定例会・10月臨時会・11月臨時会審議結果一覧

１２月定例会

議案番号	件　　名	議決結果	内　　容	掲載ページ
議案第 77 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同　意	新たに村松加代子氏を人権擁護委員候補者に推薦することに同意	４ページに掲載
議案第 78 号	森町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	公共下水道事業を地方公営企業法に適用させることに伴う所要の改正	
議案第 79 号	森町職員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決	職員定数の増員等に伴う所要の改正	４ページに掲載
議案第 80 号	森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	国の法律改正に伴う所要の改正	
議案第 81 号	令和５年度森町一般会計補正予算（第９号）	原案可決	２億８，８１２万２千円を追加する補正予算	５ページに掲載
議案第 82 号	令和５年度森町国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決	２万４千円を追加する補正予算	
議案第 83 号	令和５年度森町介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決	４，１４５万６千円を追加する補正予算	
議案第 84 号	令和５年度森町水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決	５００万円を追加する補正予算	
議案第 85 号	静岡県市町総合事務組合の規約の変更について	原案可決	本組合加入の浜名湖競艇企業団が名称変更することに伴う規約の変更	
議案第 86 号	森町道路線の認定について	原案可決	２路線の町道路線の認定 （円田・谷中線、鍛冶島仮橋線）	４ページに掲載
認定第 11 号	令和４年度太田川原野谷川治水水防組合会計歳入歳出決算認定について	認　定	歳入総額　６１２万８千円 歳出総額　５５５万３千円	
	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	投　票	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を実施	
議案第 87 号	令和５年度森町一般会計補正予算（第１０号）	原案可決	１億５，７０３万円を追加する補正予算	５ページに掲載

１０月臨時会

議案番号	件　　名	議決結果	内　　容	掲載ページ
議案第 68 号	令和５年度森町一般会計補正予算（第７号）	原案可決	６００万円を追加する補正予算	６ページに掲載
議案第 69 号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	町道椋地線道路災害復旧工事の契約を締結する	６ページに掲載
議案第 70 号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	鍛冶島仮橋架設・撤去工事の契約を締結する	６ページに掲載

１１月臨時会

議案番号	件　　名	議決結果	内　　容	掲載ページ
議案第 71 号	森町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	令和５年人事院勧告を受けた国の動向を踏まえた諸手当の増額を行う条例改正	６ページに掲載
議案第 72 号	森町特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	令和５年人事院勧告を受けた国の動向を踏まえた諸手当の増額を行う条例改正	６ページに掲載
議案第 73 号	森町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	令和５年人事院勧告を受けた国の動向を踏まえた諸手当の増額を行う条例改正	６ページに掲載
議案第 74 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	令和５年人事院勧告を受けた国の動向を踏まえた諸手当の増額を行う条例改正	６ページに掲載
議案第 75 号	令和５年度森町一般会計補正予算（第８号）	原案可決	２，９１４万３千円を追加する補正予算	６ページに掲載
議案第 76 号	令和５年度森町公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	２８６万８千円を追加する補正予算	６ページに掲載

町政の考えを問う

一般質問

一般質問とは、町議会議員が町政全般について、町長や執行機関に質問することをいいます。
12月定例会においては、全議員12人中 5 人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の要約した内容を質問順に掲載します。

増田（ますだ） 恭子（きょうこ） 議員

- 文化財保存活用地域計画策定の進捗状況は

佐藤（さとう） 明孝（あきたか） 議員

- 保育園において不足する保育士対策は
- 子育て世代を対象にした移住者誘致対策は

岡戸（おかど） 章夫（あきお） 議員

- 慰霊碑の管理をどう考えるか
- 行政視察を踏まえた今後の町政は

川岸和花子（かわぎしわかこ） 議員

- 森町の森林対策事業の現状と今後は

清水（しみず） 健一（けんいち） 議員

- ふるさと納税の実態は
- ロールプレイングトリップ in モリマチの現状は

森町議会の YouTube では、本会議の質疑だけではなく、一般質問の様子も公開しています。
データが議員ごとに分かれていますので、見たい一般質問が探しやすくなっています。本会議に来られた方も、来られなかった方も、ぜひ一度ご覧ください。

増田恭子（ますだ きょうこ）

問 文化財保存活用地域計画策定の進捗状況は

答 令和7年7月に文化庁への申請・認定を目指している

指定文化財と登録文化財の違い

・指定文化財
　・・・強い規制と確実な保護を目的とする文化財

・登録文化財
　・・・緩やかな規制と幅広い活用を目的とする文化財

増田 策定に向けた協議会は何回開催されたか。

教育長 第1回を令和5年7月に開催し、計画策定の目的や全体像を確認した。今後は、令和6年1月と3月にも開催を予定している。

増田 現在の具体的な進捗状況は。

教育長 現在、協議会で出た意見や文化庁の指導を基に、計画の素案を作成しており、これと並行して、各地区における未指定文化財の調査を行っている。

令和5年度中には文化財の概要、歴史文化の特性等の項目をとりまとめ、令和6年度は文化財の保存活用に関する目標、課題、方針についてまとめていく予定である。

増田 町指定文化財の見直しをする予定はあるか。

教育長 現在、町指定文化財は96件で、見直しについては、現時点で具体的に考えていないが、地域計画の作成に併せて所有者と連絡を取り、滅失・消失等を把握した場合は、規定に従い対応する。

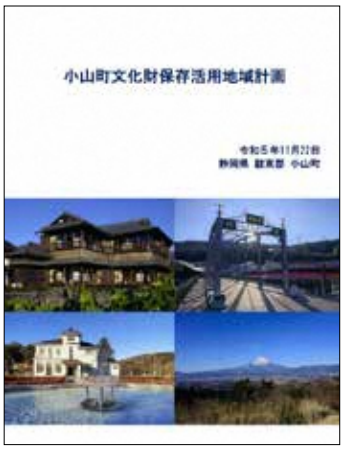
＊町指定文化財
…有形、無形を問わず、史跡や建造物、書跡、古文書、絵画などを指定している

増田 地域計画作成業務の委託先は。

社会教育課長 （株）イビソク静岡営業所と契約を締結した。契約期間は、令和5年6月23日から令和6年3月20日までで、委託内容は、町の文化財に関する現況の整理や分析の支援、会議等の運営支援等である。

増田 町民に対して、今後地域計画等に関する広報はどのように行っていく予定か。

社会教育課長 ホームページや広報もりまち等を活用して、地域計画を策定していることを、早い段階で町民に対して広報していきたいと考えている。



（参考）県内の町で初めて作成された小山町の文化財保存活用地域計画

一般質問の映像

佐藤明孝（さとう あきたか）

問 町内保育園の保育士不足への対策は

答 保育士の就業継続・確保に努める

町内保育園の配置基準保育士数に対する実際の配置数

保育園名	配置基準上必要となる保育士数	実際の配置保育士数
ときわ保育園	１６名	２４名
摩耶保育園	１６名	２２名
プティ森町園	９名	１４名
もりの保育所	５名	７名
ゆうな保育園	４名	９名

佐藤 町が把握している町内保育園の保育士の配置状況はどうか。

町長 町内5園の保育園入所児童は、12月1日現在で345名で、保育士の数は、上の表のとおりである。

佐藤 保育園への入園希望の高まりに対し、保育士が不足すると考えられるが、当局の見解は。

町長 発達・発育に課題がある児童や、特別な配慮・支援を必要とする児童が増えている。

そのため、安全かつ適切な保育対応を行えるよう、各園で配置基準以上の保育士を加配しており、町はそれに対し支援している状況である。

佐藤 今後の保育士確保のための効果的な施策は考えているか。

町長 保育士不足対策は、重要な課題である。保育士確保のため、平成29年度から県内でいち早く取り組んだ保育士宿舎借上支援事業費補助金の交付や、要支援児童保育事業費補助金の交付を実施している。

保育士不足は保育の実施に影響が出てしまうため、今後も安定的に保育の提供を行っていけるよう、必要な支援を検討してまいりたい。

【その他の質問】

子育て世代向けの移住者誘致対策

佐藤 子育て世代を対象とした移住者誘致対策として、具体的な考えはあるか。

町長 若い子育て世代の人口増加を目指して、町独自の支援施策として、令和6年度から第2子以降の保育所の保育料無料化を検討中である。

一般質問の映像

岡戸（おかど） 章夫（あきお）

問 慰霊碑の管理を今後どのように考えるか

答 町の財産ではないが、必要に応じて支援等考えていきたい

令和５年度森町戦没者追悼式の様子

岡戸 森町には20の慰霊碑や慰霊塔が現存している。遺族会の方々が祀り、維持管理をしている。しかし、会員が減り、草刈りなどが難しくなってきている。町として今後、慰霊碑の管理をどのように考えているか伺う。

町長 遺族会員の高齢化や代替わりにより、会員数が減少していることは承知しているが、各地区の慰霊碑は町の財産とはしていないため、遺族会や地域の方々で引き続き管理願いたい。しかし、古くは明治35年建立のものもあるため、今後、倒壊のおそれや修繕等の相談があれば、費用の一部支援等を考えていきたい。

岡戸 遺族会の方の思いは、管理が大変だから町で管理してほしいだけではなく、慰霊碑を通じて、皆が戦争や平和について考えてもらいたいと願っている。

また、召集令状を発出したのは行政であることからも、戦死された方々への責任があると考えるがどうか。

福祉課長 町では、慰霊と追悼のために、戦没者追悼式を毎年挙行している。来年度以降は追悼式と併せて平和について考える場にもしていきたいと考えており、関連部署と協議を重ねていく予定である。

岡戸 庵山公園の遺芳塔までの道は坂道で、高齢者は慰霊に行きたくても行けない。遺芳塔を移転する考えはあるか。

福祉課長 遺族会からも要望があり、移転について、場所等を含め、現在検討中である。

岡戸 遠州の小京都リノベーション計画の中で、庵山公園へのアクセス路整備との記載がある。具体的な内容は。

建設課長 現況では、車が通れる幅員の確保は難しい。今後、基本計画の策定を予定しており、その中で検討していく。

庵山公園の遺芳塔

【その他の質問】

行政視察を踏まえた今後の町政は

一般質問の映像

川岸和花子（かわぎし わかこ）

問 国の制度のJクレジット登録をしてはどうか

答 関係部署と連携しながら研究していきたい

Jクレジット制度とは…

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による CO_2 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO_2 等の吸収量を、クレジットとして国が認証する制度

川岸 森林環境譲与税を活用した森町の森林整備の現状と来年度からの計画はどうか。

町長 令和5年度の譲与税予算は、2500万円が予定されている。

今年度の譲与税を活用した町の事業は次のとおりである。

意向調査をふまえた間伐等の推進	850万円
インフラ保全森林整備事業	400万円
林道等補修整備	350万円
森林環境教育	160万円
森林環境整備促進基金への積立	740万円

令和6年度以降は、モデル地区である橘地区の森林整備事業を令和10年に完了を目指し、新たな整備箇所の選定も検討していく。

川岸 間伐材を有効利用する等で国が認定しているJクレジット登録を、森町でも登録してはどうか。

町長 Jクレジットは、様々な課題があり、市場規模もまだ小さい状況である。

しかし、今後の環境保全や気候変動への関心から、登録が増加していくことも予想される。町として、今後、制度の活用について関係部署と連携しながら研究していきたい。

川岸 今後の森林整備には、外部の専門家の協力を得ていく必要があると思うが、どのように考えているか。

町長 専門家の協力を得ながら進めていくことが、今後の森林整備に対して効果的かどうかを検討しながら、多面的機能をさらに高める施策や、木材・間伐材等の利活用を促進する施策を進めていく。

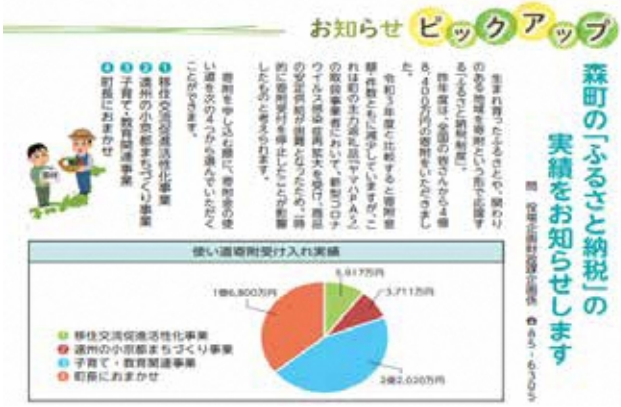
令和5年11月に町内小学校児童を対象に行った森町森林環境教育

一般質問の映像

清水（しみず）健一（けんいち）

問 ふるさと納税の使途別実績の詳細を知る方法は

答 町ホームページと広報もりまち6月号で確認できる



お知らせピックアップ

森町の「ふるさと納税」の実績をお知らせします

問 役場企画財政課企画係 ☎85-6305

生まれ育ったふるさとや、関わりのある地域を寄附という形で応援する「ふるさと納税制度」。昨年度は、全国の皆さんから4億8,400万円の寄附をいただきました。

令和5年度と比較すると寄附金額ともに減少していますが、これは町の主力返礼品であるヤマハPAシリーズの取扱事業者において、新型コロナウイルス感染症再発生を受け、一時的に寄附受付を停止したことが影響したものと考えられます。

寄附を申し込む際に、寄附金の使い道を次の4つから選んでいただくことができます。

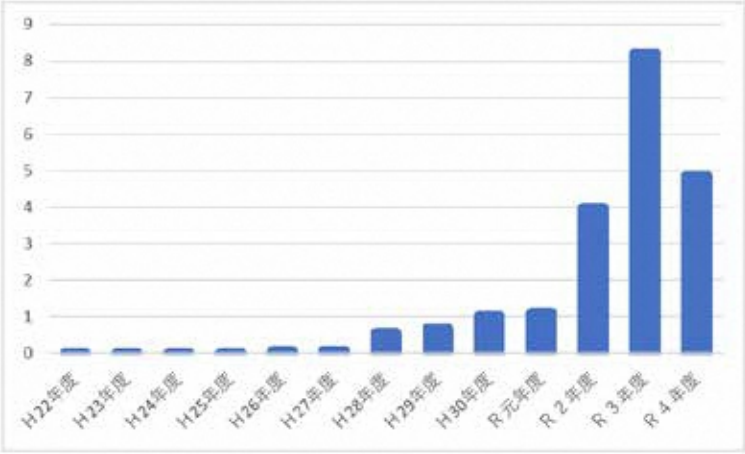
❶ 移住交流促進活性化事業
❷ 遠州の小京都まちづくり事業
❸ 子育て・教育関連事業
❹ 町長におまかせ

広報もりまち令和５年６月号（一部抜粋）

▲町ホームページで公表されているふるさと納税に関するページ

清水 町民の関心が高い「ふるさと納税」の金額の推移はどうなっているか。

町長 平成22年度の5万円からはじまり、令和3年度は**8億2116万円**、令和4年度には**4億8447万円**となった。



ふるさと納税寄附金額の推移（億単位）

清水 ふるさと納税の使途別実績の詳細は、どの情報を見れば把握できるのか。

町長 町のホームページと、広報もりまちの6月号で紹介している。

清水 町民や納税者が知りたい情報を、毎月の広報に乗せることはできないか。

企画財政課長 決算が出揃って掲載が間に合う時期が6月号となってしまう。なお、充当した事業は全て掲載されている。

また、希望者には森町メールマガジンを配信している。

清水 返礼品の開発を生産者任せではなく、開発に支援をしたらどうか。

企画財政課長 返礼品の開発に取り組む事業者を支援していく仕組みについては、検討を考えている。

【その他の質問】

ロールプレイングトリップ－inモリマチ

清水 現在の事業の実施状況はどうか。

町長 本事業は、平成30年度の9月補正で1400万円、令和元年度当初予算では1400万円を充当した。シティープロモーション事業として実施したが、コロナ感染拡大により観光誘客は実施できなかった。今後は、コロナ5類引き下げをふまえて再調整し、実施に向けて準備している。

清水 アクティ森だけではなく、森町全域を対象にしてはどうか。

産業課長 材料は揃っているので、タイミングをみて実施していきたい。

一般質問の映像

議員の定数と報酬について調査研究を進めています

森町議会では、令和５年９月定例会において、議員 12 名で構成される「議員定数等調査特別委員会」を立ち上げました。令和７年４月に予定されている町議会議員選挙に向け、なり手不足解消につながるよう、適正な定数と報酬について、調査研究を進めています。ここで、現在の調査研究状況を報告します。

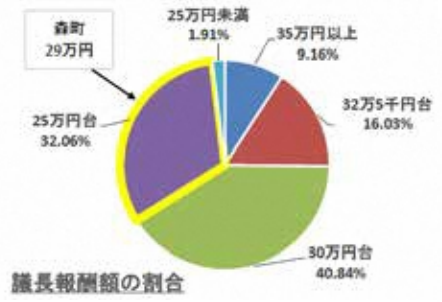
第１回（10 月 20 日）

・森町議会の議員定数と報酬額の推移を調査しました。
・平成 17 年の改定は、合併問題を受けて議員提案として引き下げたものであるため、現在の議会活動量と見合っていないのではとの意見が出ました。

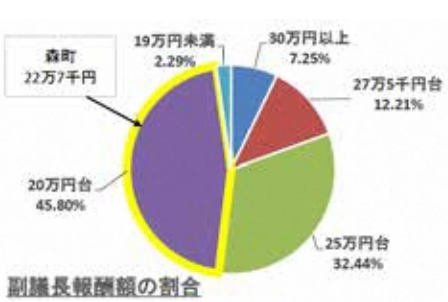
区分	平成８年７月	～	平成 11 年４月	～	平成 17 年 12 月	
議長	322,000 円	～	変更なし	～	290,000 円	平成 17 年 12 月以降は、定数も報酬額も変動なし
副議長	252,000 円	～	変更なし	～	227,000 円	
委員長	236,000 円	～	変更なし	～	213,000 円	
議員	225,000 円	～	変更なし	～	203,000 円	
議員定数	１８人	～	１６人	～	１２人	

第２回（11 月 20 日）

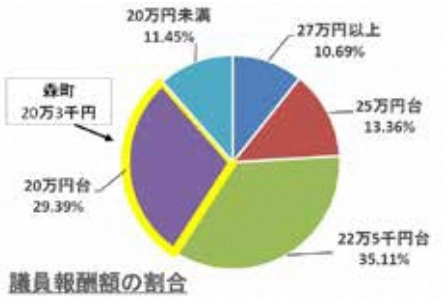
・人口規模１万人台の町村議会の定数と報酬額を調査しました。
・定数は行政面積や人口分布から考え、報酬は活動量に見合った額を考えることが妥当であることから、定数と報酬は分けて検討することとしました。



議長報酬額の割合



副議長報酬額の割合



議員報酬額の割合

第３回（12 月 22 日）

・議員の定数について採決を行い、多様な議論を維持するためや幅広い意見を町政に反映させるため、出席委員 10 名全員の賛成により、現状維持の 12 人とすべきと決しました。
・人口や産業構造が似ている全国の町村議会の報酬額を調査し、比較を行いました。
・令和４年１年間の議会活動量と議員活動量を算出し、適正な報酬額について協議しました。

第４回（１月 19 日）

・議員報酬を引き上げることについて採決を行い、出席委員 12 名の過半数の賛成により、引き上げを実施すべきと決しました。
・実際の引き上げ案について、各委員から意見を出し合い、次回も引き続き協議することとしました。

子育て支援充実 境町（さかいまち） と 茨城の小京都 古河市（こが） を視察

（常任委員会所管事務調査）

令和５年 11 月 13 日及び 14 日の２日間において、先進地視察として茨城県猿島（さしま）郡境町と茨城県古河市を訪問し、視察を行いました。調査内容の報告を掲載します。

境 町

＜ 境町プロフィール ＞

人　口	２万 3,782 人（令和6年1月1日現在）
世帯数	9,138 世帯（令和6年1月1日現在）
面　積	46.59 平方キロメートル
名産品	米、さしま茶、レタス、ねぎ、トマト

2023 年住みたい田舎ランキング
子育て世代 部門
関東の町で
第 1 位！

子育て支援の充実

子育て支援日本一を目指す境町は、数多くの充実した子育て支援を行っています。

・対象の住宅に25年住み続けると、土地と建物が無償譲渡される制度

・小学生・中学生の英語検定の検定料無料化

…境町では、英語教育に力を入れており、小中学校９年間を通して英語力の向上を図っています。

・こども医療費が20歳の学生まで無料

・第３子以降の出生に最大50万円の給付

・子育てを支援する様々な町内施設の設置

境町子育てパンフレット（一部抜粋）

次世代人工サーフィン施設「Ｓ－ｗａｖｅ」

自治体初の自動運転バス運行

境町では、民間事業者の協力のもと、自動運転バスを３台導入し、生活路線バスとして定時・定路線での運行を令和２年から開始しました。

自治体が自動運転バスを公道で定常運行するのは、国内で初めての取組であり、公共交通対策に悩む森町にとって、非常に参考となりました。

古河市

歴史と伝統が
息づくまち
茨城の小京都
古河市

＜ 古河市プロフィール ＞

人　口	14 万 499 人（令和6年1月1日現在）
世帯数	6 万 4,732 世帯（令和6年1月1日現在）
面　積	123.58 平方キロメートル
名産品	ハナモモ、にんじん、ニガウリ、サニーレタス

歴史と文化の保存活用

森町と同じく全国京都会議に加盟している古河市は、江戸時代に日光街道の宿場町として栄え、現在も武家屋敷など風情ある建物が残されており、景観を生かした町づくりをされていました。

旧古河城出城（でじろ）跡を活用した古河歴史博物館

また、「お休み処 坂長」という施設は、江戸時代の商家の建物を活用し、石蔵をホールに、主屋を喫茶店やショップに改修された施設で、保全をしながら、上手く利活用されていました。

蔵の移築など大きな金額のかかる事業の財源は、所有者等の有志からの寄附も受けて実現しており、地元を愛する人たちの思いがあっての保存であり、市は責任を持って活用しているとの説明がありました。

また、国の文化財の利活用は、まだ結果が見えたわけではないとの話があり、古い建物を保存していくことに苦慮する現実があるのは、どこも同じ課題であると痛感しました。

主屋を改修したショップ（おみやげ処）

視察を終えて

古河市では、市の歴史を誇りに思う地元の文化が、まちづくりの基礎になっており、様々なまちづくりの取組は、非常に参考になりました。

また、境町では、境町町長が「スピード感とアカウンタビリティ（説明責任）」をキーワードに、様々な事業を迅速に進めながらも、町民や議会に対し、情報や説明を幅広く開示されていました。

行政・議会・町民が意識を同じくし、スピード感を持って時代に合わせながら発展していくことの重要性を再認識しました。

第一常任委員会委員長　亀澤　進
第二常任委員会委員長　川岸　和花子

旭が丘中学校学習発表会
に参加しました

令和５年 11 月 24 日に、「旭中ＳＤＧｓ（総合的な学習の時間）」を中心に生徒さんたちが積み上げてきた学びを発表する場である「旭が丘中学校学習発表会」に議員が参加してきました。

生徒さんたちの視点から見る森町の現状とこれからの森町をよりよくするための発表は、私たち議員にとって、とても参考になりました。

また、議員は発表を聞いて、アイディア性や説得力、スライドの構成、発表の姿勢などを実際に評価しました。

発表内容や実際に発表した生徒さんからの感想をお聞きしましたので、是非ご覧ください。

▶ 森町の観光地を広めよう！
～魅力を発信するためには何ができる？～

森町にはたくさんの魅力があるのに、森町に住んでいる私たちが知らないことだったり、詳しくなかったりすることが多くある…。　→ もっとみんなに魅力を広めよう！

＜ 魅力を多くの人に伝えるために… ＞

◎ チラシや SNS を活用し、もっと情報を伝える。

（チラシに紹介する QR コードを貼り付ければ、より店の情報を発信できるのでは？）

◎ 森町の特産品を使った商品を開発する。

（実際に、特産品の茶を使ったグミをパッケージから考えました。）

生徒さんの感想

・森町ならではの魅力を、森町に住んでいる人にも住んでいない人にも知ってもらい、より多くの人から愛される町になってほしい。

・私たちの次の世代の人たちが、「森町に住みたい」「自慢の町」と思えるような町にしたい。

大場美空（おおばみく）さん　木下芽已（きのしためい）さん　山名諒（やまなりょう）さん
鈴木ひかり（すずき）さん　安間咲季（あんまさき）さん　坂中琴春（さかなかことはる）さん

▶ 森町の伝統芸能を若者へ

伝統芸能 × カフェ

森町の人口構成ピラミッドはつぼ型で、高齢化も全国平均より高い。更に若者が少ないため、神社を知っている人が少ない…。 → 伝統芸能を受け継ぐ人がいない！

＜ 伝統芸能を多くの人に伝えるために… ＞

◎ 伝統芸能とカフェをコラボさせる。

・カフェをつくると…

→ 森町に若者がたくさんくる → 伝統芸能を知ってもらえる

→ 伝統芸能を受け継ぐ人が増える！

・森町の食材を使ったサンドイッチを売る、伝統文化の焼き印を入れる など…

生徒さんの感想

・カフェを通して、多くの若者に森町の伝統文化を知って、受け継いで欲しいと思った。

・総合の学習で、今後の森町をどうしていきたいかを考えていき、森町の力になれた気がして、とても嬉しかった。

村松碧依さん 時田捺妃さん 濱田雫さん
鈴木花歩さん 山本侑季那さん 鈴木沙奈さん

▶ 農業を通して森町を持続可能にするには？

森町の農業の課題は、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加で、農業就業者数は森町の人口とともに右下がり…。

＜ 農業就業者数を増やすために… ＞

◎ スマート農業の導入 → 3K の払拭、町の農業を活性化

労働時間を短縮できたり、ICT 技術により若手農家に技術の継承が楽になったりする。

◎ 農ある暮らしを推進（ 半農半X ） → 「農」の魅力を伝え広げることで移住者を増やす

生活に「農」を入れることで、農業を自分らしく楽しむことができる。

生徒さんの感想

・森町がいつまでも存続し続けて欲しい。時代の変化に負けないそんな町であって欲しい。

・森町の農業の課題と、それを解決することの難しさを学んだ。僕たちが考えた「スマート農業と農ある暮らし」を選択肢の一つとして、農業が持続可能であって欲しい。

鈴木莉央さん 袴谷友希さん 武田永遠さん
鈴木快青さん 武山優さん

＼みんなのこえ／

～ 町内でがんばる皆さんの活動を紹介します！ ～

森町消防団

森町消防団は、「未来に繋ぐ住みよい森町」を目的とし、現在、３０９名にて、地域の皆さまの生命・身体・財産を守るため、様々な災害に対応できるよう活動をしています。

消火活動をはじめ、災害発生時における避難誘導や、災害を起こさない、災害が起きてしまった際に被害を最小限に食い止めるための予防消防が、主な活動です。

森町消防団では、一緒に森町を守っていただける仲間を募集しています。

大切な人の生活を、一緒に守ってみませんか？

女性の入団も大歓迎です。

時代に合わせ、様々なことに柔軟に対応できる、地域に密着した組織にしていきたいと思っています。

森町消防団に少しでも興味がある方は、ぜひ消防団事務局までお問合せください。

森町消防団団長　河口（かわぐち）　誉（ほまれ）

連絡先　８５－６３０２
森町消防団事務局（森町役場防災課）

議会だよりの感想をお聞かせください！

3月定例会の予定

2月26日(月)	議会運営委員会
3月 1日(金)	本会議（招集）・全員協議会
3月 7日(木)	本会議２日目
3月11日(月)	常任委員会
3月21日(木)	本会議３日目（一般質問）
3月25日(月)	本会議（最終日）

※会議の開始時間は午前9時30分です。
※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

ひとこと

新年を迎えた令和６年１月１日に、最大震度７を観測する能登半島地震が発生しました。

犠牲となられた方々には、衷心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げると共に、１日も早く平穏な生活に戻られるようお祈り申し上げます。

今回の地震は、多くの建物が倒壊する中、発生後すぐに津波が沿岸部に押し寄せ、大規模火災も発生する大災害となり、現在も懸命な復旧活動が続いております。

我々も改めて災害に対する意識を高め、日頃の準備を怠ることが無いように心がけましょう。

（川岸和花子）

議会だより編集委員会
委員長　中根信一郎
副委員長　川岸　和花子
委員　平　川　勇
委員　佐藤明孝
委員　清水健一
委員　増田恭子
発行責任者　議長

もりまち議会だより 第98号
令和6年（2024年）2月15日 発行
発行　静岡県森町議会
編集　議会だより編集委員会

〒437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1
TEL 0538-85-6329 FAX 0538-85-6044
https://www.morimachigikai.com/
E-mail:morimachi.gikai@gmail.com